



NISSIN SERVICER
IR PERSONALITY

vol. **8**

第6期
第3四半期報告書

平成18年4月1日▶平成18年12月31日



ニッソニ債権回収株式会社

NIS GROUP

順調な債権回収の進捗と、共同買取業務等による収入の



社長挨拶

代表取締役社長兼執行役員

あまの かすまさ
天 野 量 公

■ ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

あらためて御礼申し上げますとともに、第6期第3四半期報告書をお届けするにあたり一言ご挨拶申し上げます。

当第3四半期におきましては、景気回復に伴う不良債権市場の縮小懸念や業者数の増加による競争激化と厳しい環境下ではありましたが、不動産市況の活性化を受け不動産投資が中心となるものの、前年を大きく上回る投資実績をあげることができました。また、業績面におきましても債権及び共同投資案件の順調な回収進捗による収入の増加により、中間期に修正いたしました計画通りの実績をあげることができました。

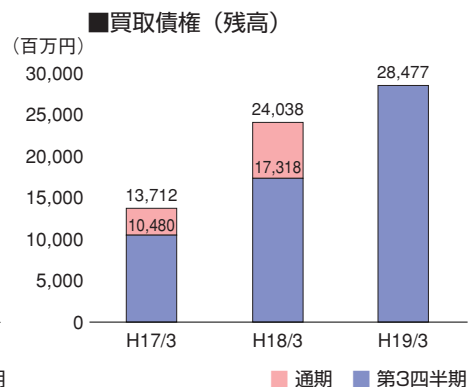
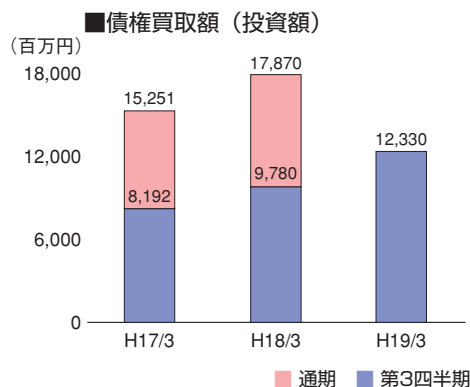
今期も残すところあとわずかとなりましたが、株主の皆様のご期待にお応えでき

るよう全社一丸となって事業に邁進してまいりますので、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■ 連結業績概要

当第3四半期連結会計期間につきましては、金融機関との継続取引及び新規取引の開拓につとめました結果、債権買取額（投資額）は12,330,653千円（前年同期比26.1%増）、買取債権（残高）は28,477,757千円（同64.4%増）となりました。また不良債権処理の一環として取得した不動産買取額（投資額）は18,040,735千円（同356.5%増）、買取不動産（残高）は24,169,683千円となりました。

営業収益につきましては、債権管理回収の進捗により買取債権回収高は13,432,092千円（前年同期比71.8%増）、不動産関連業務の強化により買取不動産売却高は



増加により利益が拡大。

2,466,118千円(同40.2%減)、債権共同買取り業務等に伴う受託手数料及びその出資収益等によるその他収入1,489,708千円(同185.8%増)となり、合計では17,387,919千円(同39.5%増)となりました。

営業費用につきましては、買取債権回収高の増加に伴う債権回収原価8,894,832千円(前年同期比91.2%増)、不動産売却に伴う買取不動産売却原価1,335,762千円(同53.7%減)となり、その他38,797千円を合わせ合計では10,269,392千円(同36.1%増)となりました。この結果、営業総利益は7,118,526千円(同44.7%増)となりました。販売費及び一般管理費につきましては、主に給与手当423,614千円(前年同期比27.4%増)、貸倒引当金繰入額1,085,460千円(同48.0%増)、ストック・オプション発行に伴う株式報酬費用120,134千円等を計上し、合計2,863,419千円(同54.2%増)となりました。この結果、営業利益は4,255,107

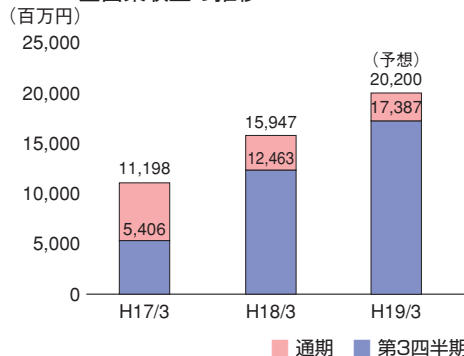
千円(同39.0%増)となりました。

営業外収益は116,004千円(前年同期比71.9%増)となり、営業外費用につきましては、主に資金調達に伴う支払利息564,700千円(同98.3%増)により、合計で617,193千円(同90.5%増)となりました。この結果、経常利益は3,753,917千円(同33.8%増)となり、法人税関連費用1,376,839千円(同18.3%増)、少数株主利益453,515千円の計上により、当第3四半期純利益は1,922,029千円(同17.1%増)となりました。

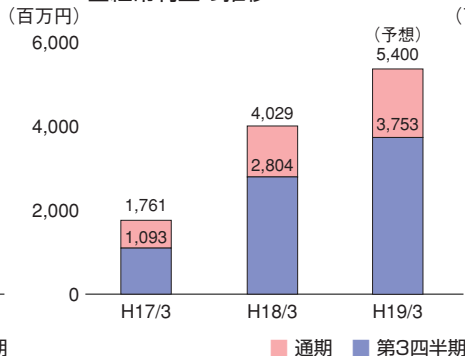
■ 通期の見通しについて

当第3四半期の業績につきましては、概ね中間期に修正いたしました計画どおりに推移しているため、連結・個別ともに平成19年3月期の業績予想の修正はありません。なお予想数値につきましては、下欄のグラフをご参照下さい。

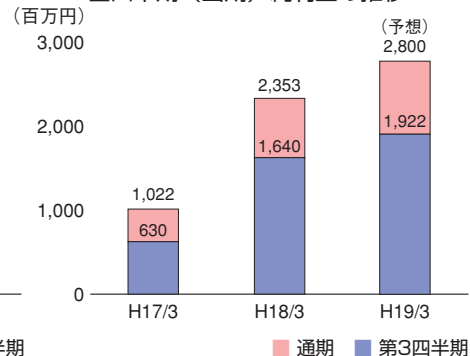
■ 営業収益の推移



■ 経常利益の推移



■ 四半期(当期)純利益の推移



■ 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

区 分	前連結会計年度末 (平成18年3月31日現在)	当第3四半期連結会計期間末 (平成18年12月31日現在)
【資産の部】		
流動資産	32,917	56,960
現金及び預金	3,191	4,857
買取債権	24,038	28,477
買取不動産	6,126	24,169
繰延税金資産	720	699
その他	632	1,018
貸倒引当金	△1,791	△2,261
固定資産	7,985	5,800
有形固定資産	25	25
無形固定資産	8	9
投資その他の資産	7,951	5,765
資産合計	40,903	62,761
【負債の部】		
流動負債	19,781	30,395
短期借入金	8,290	16,121
1年内返済予定長期借入金	8,993	11,783
1年内償還予定社債	60	160
未払法人税等	1,385	625
賞与引当金	—	72
役員賞与引当金	—	7
その他	1,051	1,625
固定負債	14,472	23,671
社債	90	460
長期借入金	14,382	23,211
その他	0	—
負債合計	34,254	54,067
【少数株主持分】		
少数株主持分	—	—
【資本の部】		
資本金	1,695	—
資本剰余金	1,481	—
利益剰余金	3,472	—
資本合計	6,649	—
負債、少数株主持分及び資本合計	40,903	—
【純資産の部】		
株主資本	—	7,750
資本金	—	1,720
資本剰余金	—	1,506
利益剰余金	—	4,524
新株予約権	—	118
少数株主持分	—	823
純資産合計	—	8,693
負債及び純資産合計	—	62,761

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 営業資産について

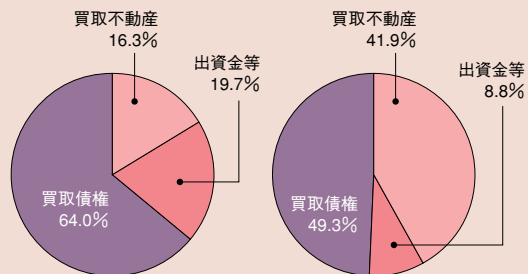
買取債権および匿名組合出資等の回収が進捗したこと、また買取不動産の投資が増加したことから、当第3四半期の営業資産は57,717百万円となりました。

H18/3

合計 37,589百万円

H18/12

合計 57,717百万円

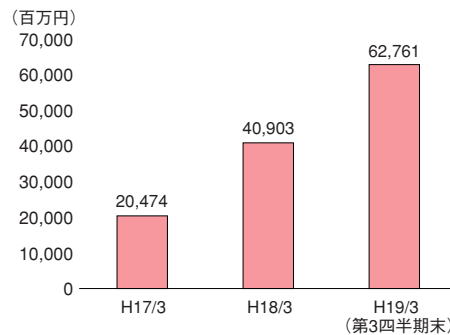


(注)投資その他の資産のうち出資金等の金額は、H18/3 7,424百万円、H18/12 5,069百万円です。

■ 有利子負債について

当第3四半期の有利子負債合計は、51,736百万円、期末加重平均調達金利は2.1%となりました。

■ 総資産の推移



四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

区 分	前第3四半期連結会計期間 (自 平成17年 4月 1日 至 平成17年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成18年 4月 1日 至 平成18年12月31日)
営業収益	12,463	17,387
買取債権回収高	7,820	13,432
買取不動産売却高	4,122	2,466
その他	521	1,489
営業費用	7,545	10,269
債権回収原価	4,651	8,894
買取不動産売却原価	2,887	1,335
その他原価	6	38
営業総利益	4,918	7,118
販売費及び一般管理費	1,856	2,863
営業利益	3,061	4,255
営業外収益	67	116
営業外費用	323	617
経常利益	2,804	3,753
特別利益	—	1
特別損失	—	2
税金等調整前第3四半期純利益	2,804	3,752
法人税、住民税及び事業税	1,283	1,270
法人税等調整額	△119	106
少数株主利益	—	453
第3四半期純利益	1,640	1,922

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 営業総利益について

主な内訳は以下のとおりです。

買取債権回収益	4,537百万円
買取不動産売却益	1,130百万円
匿名組合出資収益	652百万円

■ 主要な経費について

① 給与手当423百万円

管理・アセットマネジメント部門を中心に人員が増加しております。

従業員数 H17/12 70名→H18/12 83名

② 貸倒関連費用1,088百万円

担保付債権の増加により、引当率は低下しております。

貸倒引当率 H17/12 9.3%→H18/12 7.9%

■ 支払利息について

有利子負債の増加に伴い、支払利息は564百万円(前年同期比98.3%増)となりました。

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区 分	前第3四半期連結会計期間 (自 平成17年 4月 1日 至 平成17年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成18年 4月 1日 至 平成18年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,137	△17,970
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,594	1,695
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,344	18,195
現金及び現金同等物の増加額(△は減少額)	△1,386	1,920
現金及び現金同等物の期首残高	3,006	2,264
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加	—	213
現金及び現金同等物の第3四半期末残高	1,619	4,397

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 営業活動によるキャッシュ・フローについて

主に買取不動産の純増額が16,636百万円（前年同期比15,647百万円増）、買取債権の純増額が3,435百万円（同959百万円減）となったことによるものであります。

■ 投資活動によるキャッシュ・フローについて

主に匿名組合出資金の純減額が3,286百万円（前年同期比8,751百万円減）となったことによるものであります。

■ 財務活動によるキャッシュ・フローについて

主に短期借入金の純増額が7,830百万円（前年同期比6,005百万円増）、長期借入金の純増額が10,700百万円（同4,603百万円増）となったことによる資金の増加です。

■ 四半期連結株主資本等変動計算書

第3四半期連結会計期間（平成18年4月1日から平成18年12月31日まで）

(単位:百万円)

	株主資本				新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計			
平成18年3月31日現在	1,695	1,481	3,472	6,649	—	—	6,649
第3四半期連結会計期間中の変動額							
新株の発行(新株予約権の行使)	25	25	—	50	—	—	50
剰余金の配当(注)	—	—	△ 439	△ 439	—	—	△ 439
剰余金の配当(中間配当)	—	—	△ 394	△ 394	—	—	△ 394
役員賞与(注)	—	—	△ 28	△ 28	—	—	△ 28
第3四半期純利益	—	—	1,922	1,922	—	—	1,922
関連会社増加に伴う利益剰余金減少高	—	—	△ 7	△ 7	—	—	△ 7
株主資本以外の項目の第3四半期連結会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	118	823	942
第3四半期連結会計期間中の変動額合計	25	25	1,051	1,101	118	823	2,044
平成18年12月31日残高	1,720	1,506	4,524	7,750	118	823	8,693

(注)平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。
記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■「日経IRフェア2007春」に参加

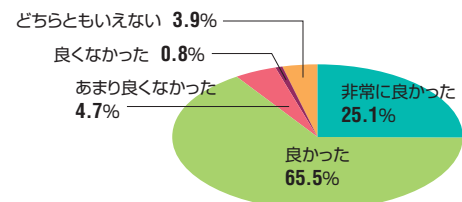
当社は、平成19年2月10日(土)六本木アカデミーヒルズ40にて開催された「日経IRフェア2007春」に参加いたしました。なお、日本経済新聞社主催の個人投資家向けIRフェアに参加するのは今回で4度目になります。当日は、出展企業約40社、来場者数も2,600人を越える大規模なイベントとなりました。当社は、代表取締役社長による会社説明会を開催し、会社概要及び業績見通し等についてご説明させていただき、また、個別ブースにおいても社長自ら、個人投資家の皆様方と積極的に意見交換させていただきました。今後も引き続き個人投資家の皆様に対するIR活動を積極的におこなってまいります。



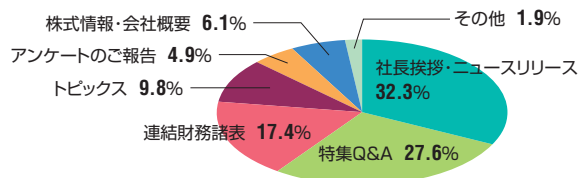
多くのご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

本誌前号(第6期中間報告書)において実施させていただいた株主様アンケートに、平成19年1月31日現在1,208通のご回答をいただきました。誠にありがとうございました。

今回の中間報告書をお読みいただいて、どのような感想をお持ちになりましたか？



また、そのように感じた項目をご記入ください。



☆株主様アンケートにご協力をお願いいたします。

当社では、本誌「IR PERSONALITY」を株主の皆様と当社を結びコミュニケーションツールとして活用してまいりたいと存じます。同封のアンケート葉書を通じて、株主の皆様のご意見をお寄せください。お寄せいただいた内容は、今後の経営及び「IR PERSONALITY」の誌面作成に活かしてまいります。

アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で1,000名様に図書カード(500円)を進呈いたします。

(締切：平成19年4月30日(月) 消印有効)

☆個人情報の取り扱いについて。

当アンケート葉書にご記入いただきました個人情報については、その使用目的を次の3つの事項に限定し、他の用途に使用することは決してございません。

また、情報の管理については十分に注意いたします。

- ①アンケートご回答の分析
- ②図書カードの送付
- ③個人株主様あてIR活動に関するお知らせの送付

会社の概要

(平成18年12月31日現在)

商号	ニッシン債権回収株式会社 (NISSIN SERVICER CO., LTD.)
設立	平成13年7月11日
本社	東京都新宿区西新宿1丁目25番1号 新宿センタービル8F TEL.03-5326-3971(代表)
営業許可	平成13年10月25日(法務大臣許可番号第58号)
資本金	17億2,007万5千円
従業員数	83名

役員

(平成18年12月31日現在)

代表取締役社長兼執行役員	天野 量公
常務取締役兼執行役員	合田 益己
取締役	清水 克敏
取締役兼執行役員	豊嶋 秀直(弁護士)
取締役	寄岡 秀夫*1
常勤監査役	新名 忠矩
常勤監査役	森田 昌弘
監査役	吉本 修二*2
監査役	山田 啓之*2

*1 取締役寄岡秀夫は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

*2 監査役吉本修二及び山田啓之は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

執行役員	森泉 浩一(アセットマネジメント部長)
執行役員	山口 達也(経営管理部長)

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 中間配当 9月30日 期末配当 3月31日
株式の売買単位	1株
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所	〒135-8722 東京都江東区佐賀1丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-288-324
同取次所	みずほ信託銀行株式会社全国各支店 みずほインベスタース証券株式会社本店 及び全国各支店
公告の方法	電子公告により行います (http://www.nissin-servicer.co.jp/)

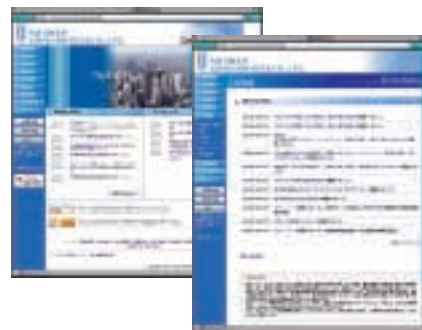
関係会社一覧

(平成18年12月31日現在)

連結子会社	有限会社ジェイ・ワン・インベストメンツ 有限会社ミヤコキャピタル 有限会社ジェイ・ツー・中国投資 他14社
関連会社	有限会社シー・エヌ・キャピタル 有限会社シー・エヌ・ツー 有限会社シー・エヌ・スリー 有限会社シー・エヌ・フォー 有限会社シー・エヌ・インベストメンツ ストラテック株式会社 他3社
親会社	NISグループ株式会社 (ニューヨーク上場NIS・東証一部8571)

ホームページ

<http://www.nissin-servicer.co.jp>



[将来予測に関する記述について] 本資料には、当社グループの意図、信念、現在および将来の予測、または連結、個別の業績、財務状況に関する経営陣の意図、信念、現在および将来の予測に関する記述が収録されております。記載されている歴史的事実以外の将来に関するすべての記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測であります。かかる将来予測に関する記述は、将来の業績を保證するものではなく、潜在的なリスクや不確実性を伴うものであり、実際の業績はさまざまな要因により将来予測に関する記述とは大きく異なる可能性がありますのでご留意下さい。なお、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要なかつ予測不可能な影響も含まれます。